

み や さ き も り

# 宇都宮の防人



宇都宮駐屯地公式HP



駐屯地マスコットキャラ  
『宇駐人』くん

<https://www.mod.go.jp/gsd/utunomiya/utsunomiyahp/index.html>



真岡市 白蛇辨財天

# 謹賀新年

くしなやかに前進し成長する年に



東部方面特科連隊  
第二大隊長兼

宇都宮駐屯地司令

2等陸佐

森 温

新年明けましておめでとうございます。「宇都宮の防人」読者の皆様におかれましては平素から宇都宮駐屯地に対して格別のご支援・ご協力を賜り、改めて御礼申し上げます。

近年、我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後、最も厳しく複雑化しております。ロシアによるウクライナ侵攻は未だ終結の見通しが立たないばかりか北朝鮮までも侵攻に参加、また中国による東シナ海、南シナ海における一方的な現状変更やその試みが継続・強化されるなど、状況は深刻化している一方であります。国内においても、風水害等の災害が激甚化し、大地震が予想されるなど予断を許さない状況となっております。このような環境の中、陸上自衛隊は、いづれ何なる事態にも的確に対応するため、「強靱な陸上自衛隊の創造」を目標とし奮励努力しております。

宇都宮駐屯地の昨年を振り返りますと、年初の令和6年能登半島地震にて第102施設直接支援大隊第2直接支援隊、第306特科直接支援中隊第2直接支援小隊をはじめとする駐屯各部隊が災害派遣に出動するとともに、国外においては中央即応連隊が第22次派遣海賊対処行動支援隊（ジブチ）、カーンクエスト24（モンゴル）、レンダーセーフ（ソロモン諸島）のため海外で活動する等、国内外の平和のため日々任務を遂行して参りました。また、3年ぶりに実動で実施された陸上自衛隊演習、防衛省・自衛隊70周年記念観閲式に駐屯各部隊が参加する等、各種訓練に励み、抑止・対処の実効性を向上して参りました。駐屯地の行事としては、74周年創立記念行事及び納涼祭を開催して多くの方にご来場いただき、また栃木県自衛隊殉職隊員追悼式を厳正に執り行うことができました。

このように各種任務、訓練、行事を行うことができたのも、地域の方々のご支援、ご協力、ご理解があつてこそです。改めて、深く御礼申し上げます。令和7年においても、引き続き駐屯地隊員一同、一層努力を重ねていく所存です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

結びに、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



中央即応連隊長

1等陸佐

堀口 大助

新年明けましておめでとうございます。魁(さきがけ)会を始めとする各協力団体の皆様、隊員ご家族の皆様、連隊を応援してくださる皆様には、平素から中央即応連隊に対し格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、7月に第22次隊派遣海賊対処行動支援隊としてジブチ共和国に隊員を派遣し、酷暑の中、海賊対処行動任務に励んでおります。さらに、モンゴル、タイ等、国外訓練をはじめ各種訓練に参加するとともに、各種事態や大規模災害にも即応すべく態勢を維持してまいりました。この際、関係諸団体の皆様から出国時の激励や新隊員への激励等の参加を賜り、厳しい任務を遂行する隊員たちの大きな励みとなりました。連隊隊員一同、深く感謝するとともに、新年においても皆様の御期待に沿うべく隊務を遂行していきたいと考えております。

我が国を取り巻く安全保障環境は日々緊迫の度合いを高めており、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、イスラエルにおけるガザ紛争に起因する中東情勢の不安定化、そして東アジアにおけるパワーバランスの変化により不確実性が増大しております。このような厳しい安全保障環境や異常気象による災害が常態化する中において、中央即応連隊が任務を完遂し国民の皆様の負託に応えるために、日々厳しい訓練によりその能力を磨き、実効性を高めております。他方、我々が効果的に訓練をするには関係諸団体をはじめ地域の皆様のご理解が不可欠であります。災害対応においても迅速かつ効果的に対応するには、皆様のご協力が極めて重要です。新年においても皆様に防衛省・自衛隊への理解を更に深めていただくよう尽力していきたいと考えております。

結びに新年が皆様にとって実り多い年であることをご祈念申し上げますとともに、中央即応連隊が躍進の年にするをお誓い申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



カーンクエスト(モンゴル)



陸曹候補生履修前教育

## 【 東部方面特科連隊第2大隊 】



調達弾薬領収射撃試験支援(北海道)



中重砲長距離射撃訓練(北海道)



宇都宮駐屯地業務隊長

2等陸佐

猪瀬 智

駐屯地の皆様、明けましておめでとうございます。令和7年を迎えるにあたり、業務隊を代表しまして旧年中に賜りました各部隊の協力に対し、厚く御礼申し上げますとともに初春のご挨拶を申し上げます。

昨年は駐屯地所在部隊及び駐屯地を利用する全ての部隊が、最高のパフォーマンスを発揮し任務に邁進し得るよう、業務隊一丸となつて支援してまいりました。

昨年は明るい話題があった一方で自然災害が連続して発生し、また我が国を取り巻く安全保障環境は依然として厳しく、現在も予断を許さない状況にあり、部隊にはより一層の緊張感をもって任務に即応することが求められています。

我々業務隊は、有事を念頭に置いて部隊、隊員に対するサービスの更なる向上に取り組み、部隊のニーズに應えることにもちろんのこと、今年には業務隊から提案する「プッシュ型サービス」をなるべく多く発信し、更なる駐屯地サービスの向上に向け、より一層努力を重ねていく所存であります。

結びに、新年が皆様にとつて実り多き年であることを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



安全祈願



年末行事

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年12月に、第11代第307施設隊長に着任しました。2等陸佐岡部信幸です。

皆様には、平素から第307施設隊に対して、格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年施設隊は、各種事態に備えるため、練成訓練、演習場定期整備、予備自衛官招集訓練、防災訓練等に取り組み任務を完遂するとともに、部隊・隊員の作戦遂行能力を着実に向上させることができました。

部隊としてこれらの各種訓練・支援等に邁進できましたのも、隊員・ご家族の皆様、並びに関係協力団体の皆様のご支援・ご協力があつたからこそと心から感謝申し上げます。

本年もあらゆる事態に即応できるよう、更に強靱な部隊を目指して訓練等に精進していく所存でありますので、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



第307施設隊長

2等陸佐

岡部 信幸



東富士演習場整備



2. 5LP築城訓練



# 陸曹候補生課程 履修前教育 (共通)

中央即応連隊(連隊長 堀口大助 1等陸佐)は、令和6年10月25日(金)から11月15日(金)までの間、宇都宮駐屯地において第146期陸曹候補生課程履修前教育(共通)を実施した。

本教育は、陸曹教育隊入校時に必要な共通の識能の修得、資質の充実及び実員指揮能力の向上を図り、入校準備に万全を期すため、入校予定者27名(中央即応連隊10名、東部方面特科連隊第2大隊14名、中央情報隊2名、中央特殊武器防護隊1名)に対し実施された。

教育に先立ち副連隊長は被教育者に対し「本質の理解や問題認識の保持」や、「陸曹は部隊の練度であり伝統」「充実かつ向上するための着意事項」等を講話で述べた。  
被教育者は本教育を通し、基本・基礎の徹底、実員指揮等を学び、入校の準備を完了した。



地雷原突破口通過の様子



戦闘訓練



「無形戦闘力」の重量物運搬



SUT訓練

## 新着任者 戦力化教育

中央即応連隊(連隊長 堀口大助 1等陸佐)は、令和6年9月から宇都宮駐屯地において「令和6年度後期新着任者戦力化教育」を実施した。

本教育は、新着任者等に対し、主に国際任務に関する教育を年2回実施し、資質及び基礎的技能・識能を修得させ早期戦力化を図ることを目的に行われている。

教育には、中央即応連隊所属の隊員のほか国際活動教育隊から1名、航空自衛隊から2名が参加した。被教育者は、職種、階級、性別に関係なく同様に訓練し、様々な課題を通じて同期との絆を深め、一致団結して教育に臨んだ。

教育に参加した航空自衛隊の隊員からは「至近距離射撃では、初めて経験する射撃方法や射撃姿勢などもあり、射撃練度の向上を図ることができた」「部隊に戻ったら、この教育で学んだことを警備訓練やSUT等の訓練に活かしていきたい」、国際活動教育隊から参加した隊員からは「実任務を意識して訓練内容をアップデートしていると感じた。今回学んだ事を基に国際活動教育隊で実施している基礎教育の内容へ反映していきたい」とそれぞれ語っていた。

## 令和6年度第4回 予備自衛官招集訓練



第307施設隊は、令和6年12月13日(金)から12月17日(火)の5日間、宇都宮駐屯地において令和6年度第4回予備自衛官招集訓練を実施し、12月の寒空の中、5日間延べ122名の予備自衛官が本訓練に参加した。予備自衛官としての資質を養うとともに、予備自衛官として必要な知識及び技能について、練度の維持・向上を図るため、体力検定・射撃検定の他、共通訓練として、基本教練・体育訓練・救急法・警備訓練・対特殊武器防護、職種訓練として、連結(ロープワーク)・歩哨所の構築等の訓練を実施した。



救急法



射撃予習



# 令和7年 年頭行事



御神酒によるお清め

東部方面特科連隊第2大隊（大隊長 森 温 2等陸佐）は、令和7年1月8日（水）令和7年年頭行事を実施した。大隊長による年頭の辞から始まり、健康・安全に留意し、個の成長が部隊の精強化につながるよう精進していこうと心を一つにした。

そして、訓練場の南北横一列に配置された東部方面特科連隊第2大隊の火砲9門及び車両1両、第306特科直接支援中隊第2小隊の重レッカー車1両の各装備品を、大隊長と各中隊長が御神酒で清めるとともに、今年の年男である巳年生まれの隊員が戦砲隊長及び照準手として空包射撃を実施し、1年の安全を祈願した。



準備よし！



初めて射撃する年男の隊員も



新年の抱負を述べた後、戦砲隊長を実施



東特連2大隊・306特直支2小隊 集結



射撃用意 撃て！

本年も「宇都宮の防人」及び宇都宮駐屯地を  
よろしくお願い申し上げます

